

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施 策	②国際流通港湾機能の強化
			施策の小項目名	○那覇港物流機能の強化
主な取組	那覇港総合物流センターⅡ期・Ⅲ期事業		対応する成果指標	那覇港公共国際コンテナターミナルの取扱貨物量
施策の方向	・国際海上コンテナ輸送の中継拠点（サブハブ）として、高規格・高能率コンテナふ頭をはじめとする国際流通港湾機能の拡充を図るため、順調に取扱貨物量が増加している内貿貨物や着実に増加してきている外貿貨物に加え、那覇空港との連携によるシー・アンド・エア等の多様な輸送経路確保に伴う積み替え貨物の増加等、取扱貨物量の更なる増加等に対応した外内貿ふ頭の再編・強化や那覇港総合物流センターⅡ期・Ⅲ期等の関連施設の整備を推進するとともに、港湾機能の高度化に係る技術の導入等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
積み替え貨物の増加等に対応した那覇港総合物流センターの整備(総合物流センター建築工事)に取り組む。	那覇港管理組合	民設民営による那覇港総合物流センターⅡ期の整備運営		
		総合物流センター建築工事Ⅱ期整備運営事業		
		公募、民間事業者の選定	契約等締結	民間事業者による整備着手
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	https://nahaport.jp/business/nplc2/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

港湾建設関連諸経費

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

市町村

委託

0

24, 602

令和7年度活動内容

民間事業者の意見等を踏まえた、民間事業者が参画しやすい公募要件の検討を行い、募集要項を作成しPFI公募を開始した。

(単位：千円)

予算事業名

港湾建設関連諸経費

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

市町村

委託

24, 511

令和8年度活動計画

PFI公募により、参画意欲のある民間事業者からの応募を受け付け、優先交渉権者を決定し基本協定締結を行う。

活動指標名

総合物流センター建築工事Ⅱ期
整備運営事業

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

概ね順調

民間事業者の意見等を踏まえた民間事業者が参画しやすい公募要件の検討をするなど、PFI公募を開始した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

民間事業者等からの意見等を踏まえた民間事業者が参画しやすい公募要件について検討をするなどPFI公募を開始していることから、概ね順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

企業調査等による民間事業者の意見等を踏まえた、民間事業者が参画しやすい公募要件等について検討をする。

民間事業者の意見等を踏まえた、民間事業者が参画しやすい公募要件の検討し、募集要項を作成しPFI公募を開始した。

- 2 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	民間事業者の資金及びノウハウを活用した民設民営での事業スキームを予定しているため、昨今の建設物価高騰に伴う採算性が課題である。	⑧ その他	公募要件について、必要に応じて適宜、内容等の見直しを行った上でより多くの民間事業者からの参画を募る。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施 策	②国際流通港湾機能の強化
			施策の小項目名	○那覇港物流機能の強化
主な取組	那覇港物流機能強化事業		対応する成果指標	那覇港公共国際コンテナターミナルの取扱貨物量
施策の方向	・国際海上コンテナ輸送の中継拠点（サブハブ）として、高規格・高能率コンテナふ頭をはじめとする国際流通港湾機能の拡充を図るため、順調に取扱貨物量が増加している内貿貨物や着実に増加してきている外貿貨物に加え、那覇空港との連携によるシー・アンド・エア等の多様な輸送経路確保に伴う積み替え貨物の増加等、取扱貨物量の更なる増加等に対応した外内貿ふ頭の再編・強化や那覇港総合物流センターⅡ期・Ⅲ期等の関連施設の整備を推進するとともに、港湾機能の高度化に係る技術の導入等に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
岸壁、各ふ頭の機能再編の実施等の港湾施設の整備に取り組む。	国,那覇港管理組合	岸壁、各ふ頭の機能再編の実施等の港湾施設の整備		
		岸壁・物揚場、機能再編等の整備		
		岸壁等整備	岸壁等整備	岸壁等整備
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	https://nahaport.jp/business/nplc2/

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

国直轄事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

国直轄

その他

0

24, 602

令和7年度活動内容

国において、新港ふ頭 1 4 号岸壁整備事業を推進した。

予算事業名

国直轄事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

国直轄

その他

24, 511

令和8年度活動計画

国において、新港ふ頭 1 4 号岸壁整備事業を継続して推進する。

活動指標名

岸壁・物揚場、機能再編等の整備

R5年度

R6年度

R7年度

実績値

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

順調

活動概要

国において、岸壁整備事業を推進した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

国による新港ふ頭 1 4 号岸壁の整備について、那覇港管理組合と国等において密に連携・調整しながら事業を実施したため、「順調」とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

岸壁等の既存施設の使用状況を踏まえた施工計画など、国、関係団体、港湾を利用する民間事業者等と、引き続き調整を密に実施する。

反映状況

岸壁等の既存施設の使用状況を踏まえた施工計画など、国、関係団体、港湾を利用する民間事業者等と、引き続き調整を密に実施した。

- 5 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	国、関係団体、港湾を利用する民間事業者等、多くの関係者との調整・連携が必要である。	② 連携の強化・改善	岸壁等の既存施設の使用状況を踏まえた施工計画など、国、関係団体、港湾を利用する民間事業者等と、引き続き調整を密に実施する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施 策	②国際流通港湾機能の強化
			施策の小項目名	○外貿貨物量の増大
主な取組	国際海上物流システム機能強化事業		対応する成果指標	那覇港公共国際コンテナターミナルの取扱貨物量
施策の方向	・課題となっている片荷輸送の解消や高い海上輸送コストの低減については、物流効率化のための施設整備や集貨・創貨の取組により外貿貨物増大による物流コストの低減を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
効率化を図る荷役機械など、国際流通港湾機能をも高める施設及び設備の整備に取り組む。	県,那覇港管理組合	効率化を図る荷役機械など、国際流通港湾機能をも高める施設及び設備の整備		
		荷役機械等の設備整備		
		設計	荷役機械改良等	荷役機械改良の追加等調査検討
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	https://nahaport.jp/business/nplc2/

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

(単位：千円)

予算事業名	ガントリークレーンレール延長事業費			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
市町村	委託	0	16,377	

令和7年度活動内容		
那覇港公共国際コンテナターミナルの荷役体制確保のため、ガントリークレーンレール延長設計業務等を行った。		

予算事業名	ガントリークレーンレール延長事業費		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
市町村	委託	24,511	

令和8年度活動計画	
那覇港公共国際コンテナターミナルの荷役体制確保のため、事業費増大に伴いガントリークレーンの運用方針について検討する。	

活動指標名	荷役機械等の設備整備		R7年度			進捗状況	活動概要
	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	設計	設計	100.0%	順調	那覇港公共国際コンテナターミナルの取扱可能貨物量の増加に向けて、那覇港管理組合において検討した基本方針等を基に、優先度の高いガントリークレーンレール延長にかかる設計業務を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ガントリークレーンレール延長計画の推進にあたり、一部地盤改良を要する箇所などが判明したものの、延長設計業務を実施することができたため、順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案	反映状況
事業着手に向けては、同コンテナターミナル区域内で修繕や改修事業修などの工事工程の兼ね合いから、荷役作業スケジュールに悪影響を及ぼす懸念があるため、ガントリークレーン延長事業の実施にあたっては、外部要因を極力回避する必要がある。	令和7年度に実施した設計業務では荷役作業への影響が少ない施工方法を検討し、今後、詳細な施工計画を作成して関係事業者と調整する必要がある。一方、新たに岸壁の補強など事業費増大が判明したことから、国等関係機関と共にガントリークレーンの運用方針について検討する。

- 8 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	関係機関等と工事のスケジュールや手順について連携する必要があるため、ガントリークレーンの運用方針について検討を行う。	⑦ 取組の時期・対象の改善	港湾荷役への影響を考慮しながらガントリークレーンの運用方針を検討し、国際流通港湾機能の強化へ取り組む。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施 策	②国際流通港湾機能の強化
			施策の小項目名	○外貿貨物量の増大
主な取組	創貨・集貨の取組強化		対応する成果指標	那覇港公共国際コンテナターミナルの取扱貨物量
施策の方向	・課題となっている片荷輸送の解消や高い海上輸送コストの低減については、物流効率化のための施設整備や集貨・創貨の取組により外貿貨物増大による物流コストの低減を図ります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
コンテナで輸出する荷主を対象に、輸送費等の一部を補助するなど輸出貨物増加を促進し、物流コストの低減を図るための実証実験に取り組む。	県,那覇港管理組合	コンテナで輸出入する荷主等を対象に、輸送費等の一部を補助するなど外貿輸出貨物増加を促進し、物流コストの低減を図るための実証実験		
		那覇港輸送効率化支援事業等の参加企業による貨物量増加(累計)		
		20TEU	20TEU(40TEU)	20TEU(60TEU)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名		国際物流関連産業推進費		予算事業名		国際物流関連産業推進費	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度			
市町村	補助	7,510	1,434	市町村	補助	10,000	
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画			
那覇港管理組合において、コンテナ輸送費等の一部を補助するなど輸出貨物増加を促進し、物流コストの低減を図るための実証実験を行った。				那覇港管理組合において、コンテナ輸送費等の一部を補助するなど輸出貨物増加を促進し、物流コストの低減を図るための実証実験を引き続き行う。			

活動指標名	那覇港輸送効率化支援事業等の参加企業による貨物量増加(累計)		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	44TEU	20TEU	100.0%	順調	コンテナで輸出する荷主を対象に、輸送費等の一部を補助するなど輸出貨物増加を促進し、物流コストの低減を図るための実証実験を行った。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
那覇港における貨物量は増加しており、令和7年度の目標値を達成したため、順調とした。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
実証実験の結果、目標達成と評価できる実績が得られたが、参加企業からは申請手続き等の煩雑さなどの指摘があり、さらなる輸出貨物増加の促進に向けては、諸手続き等について改善の余地がある。	円滑な手続きの実現のため、申告必要書類を再検証し、押印省略など申請者の負担軽減を図った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	実証実験の参加企業より、複数年度の継続支援を希望する意見があったため、さらなる輸出貨物増加の促進に向けて検証する必要がある。	⑦ 取組の時期・対象 の改善	事業参加者の意見も踏まえ、那覇港直輸出入が定着し、かつ利用しやすい実証事業内容へ見直しを検討する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施 策	③物流コスト低減に向けた国際航路・空路拡充の取組及び物流対策
			施策の小項目名	○片荷輸送の解消の促進
主な取組	国際海上物流ネットワークの強化		対応する成果指標	那覇空港における国際貨物量及び那覇港における定期外国航路（海外）寄港地数
施策の方向	・片荷輸送等の解消のためには、アジアに近い地理的優位性を生かし、那覇港における国際流通港湾機能の拡充を図ることで、アジア主要港との連携により、国際海上ネットワークを強化し、最終顧客である荷主を呼び込み、港湾利用者としての海運業者を誘致するなど、国際航路の拡充に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
県外・国外主要港とのネットワーク拡充を図るため、船社等に対するポートセールスを実施する。	県,那覇港管理組合	県外・国外主要港とのネットワーク拡充を図るため、船社等に対するポートセールスの実施		
		ポートセールス実施数(累計)		
		3社	3社(6社)	3社(9社)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

国際物流関連産業推進費

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

—

—

7,510

1,434

令和7年度活動内容

県内外・国外の船社や港湾管理者を訪問し、既存航路の維持・拡大及び新規航路開設の可能性について意見交換を実施する。

予算事業名

国際物流関連産業推進費

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

—

—

10,000

令和8年度活動計画

県外・国外の船社や港湾管理者を訪問し、既存航路の維持・拡大及び新規航路開設の可能性について意見交換を実施する。

活動指標名

ポートセールス実施数（累計）

R5年度

R6年度

実績値

—

—

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

7社

3 社

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

県内外・国外の船社や港湾管理者を訪問し、既存航路の維持・拡大及び新規航路開設の可能性について意見交換を実施する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県外・国外の船社や港湾管理者を訪問し、既存航路の維持・拡大及び新規航路開設に向けたポートセールスを行い、目標値を達成したため、順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

那覇港の特性を情報発信するとともに、船社、荷主等へのヒアリング等により輸出入のニーズや物流環境を具体的に把握し、ニーズに応じた新たな支援スキームを検討する必要がある。

反映状況

さらに幅広い船社や荷主等へポートセールスを実施するために、物流関連のイベントへ出展する事を検討する。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	既存航路の維持・拡大及び新規航路開設には、ベースカーゴが必要であり、県内から輸出される貨物量の増大が必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	船社・荷主等を対象とした輸送効率化支援事業等により輸出貨物増大を図る。また、船社・荷主へのヒアリング等により、将来の貨物量の見込み等を把握し、寄港地誘致に向けた航路拡充の可能性を検討する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施 策	③物流コスト低減に向けた国際航路・空路拡充の取組及び物流対策
			施策の小項目名	○片荷輸送の解消の促進
主な取組	県外・国外港等との連携強化		対応する成果指標	那覇空港における国際貨物量及び那覇港における定期外国航路（海外）寄港地数
施策の方向	・片荷輸送等の解消のためには、アジアに近い地理的優位性を生かし、那覇港における国際流通港湾機能の拡充を図ることで、アジア主要港との連携により、国際海上ネットワークを強化し、最終顧客である荷主を呼び込み、港湾利用者としての海運業者を誘致するなど、国際航路の拡充に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
物流に関する交流を促進するため、県外・国外港の管理運営者との間で長期的な連携関係の強化に向けて取り組む。	県,那覇港管理組合	物流に関する交流を促進させるため、県外・国外港の管理運営者との間で長期的な提携関係の強化		
		パートナーシップ港との合意書(MOU)の締結		
		市場調査、関係機関調整	市場調査、関係機関調整	現地ポートセールス、意向調査
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL
				https://nahaport.jp/business/nplc2/

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

—

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

市町村

その他

0

令和7年度活動内容

物流ニーズなどの市場調査や関係機関及び事業者と意見交換を実施した。

予算事業名

—

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

市町村

その他

令和8年度活動計画

物流ニーズなど市場調査を活用しながら、関係機関協議を実施し、双方のニーズやメリットを確認し、方針案を検討する。

活動指標名

パートナーシップ港との合意書 (MOU) の締結

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

—

市場調査、関係機関調整

市場調査、関係機関調整

100.0%

順調

MOUを締結している海外の関係機関（台湾）を訪問し、関係機関及び事業者と意見交換を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

関係機関及び事業者と意見交換を実施したため、取組は順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

パートナーシップ港との合意書 (MOU) を締結するには、現地でのポートセールスや意向調査等を通じて、合意内容の構築が重要となる。

現在MOUを締結している台湾の国際港湾関連機関を訪問し、関係機関及び事業者に対し現在のMOUの実施状況や今後の連携強化策に関する意見交換を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	パートナーシップ港との合意書（MOU）を締結するには、より具体的な調査テーマの特定・課題について共有する必要がある。	② 連携の強化・改善	海外の国際港湾関連機関と具体的な調査テーマの特定・課題等について、意見交換や情報共有を行う。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施 策	③物流コスト低減に向けた国際航路・空路拡充の取組及び物流対策の強化
			施策の小項目名	〇片荷輸送の解消の促進
主な取組	航路の新設・拡充（中城湾港新港地区）		対応する成果指標	那覇空港における国際貨物量及び那覇港における定期外国航路（海外）寄港地数
施策の方向	・片荷輸送等の解消のためには、アジアに近い地理的優位性を生かし、那覇港における国際流通港湾機能の拡充を図ることで、アジア主要港との連携により、国際海上ネットワークを強化し、最終顧客である荷主を呼び込み、港湾利用者としての海運業者を誘致するなど、国際航路の拡充に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
中城湾港新港地区の航路の新設・拡充に向け実証実験を行う。	県,市	産業支援港湾としての機能強化・拡充を図るための、航路新設に向けた実証実験の実施		
		実証実験の実施件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL
				—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		—			予算事業名		—	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
—	直接実施				—	直接実施		
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画			
うるま市や沖縄市と連携しながら、荷主や物流事業者に対してポートセールスを行った。					うるま市や沖縄市と連携しながら、荷主や物流事業者に対してポートセールスを行う。			
予算事業名		中城湾港新構築物流促進事業			予算事業名			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
市町村	委託							
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画			
沖縄市にて、大阪玉島航路の実証実験を実施した。								

活動指標名	実証実験の実施件数(累計)		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄市による航路実証実験を実施した。
	—	—	1件	1件	100.0%		
						順調	

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄市による大阪玉島航路の実証実験を実施したことで、目標の達成率が100%となったことから、取組みは順調と判断した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
国直轄による中城湾港（新港地区）東ふ頭－11m岸壁の促進を図るため、国に対し早期整備を要望する。	事業の促進を図るため、国に対して早期整備を要望した。



3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	国直轄による中城湾港（新港地区）東ふ頭－11m岸壁の早期整備が必要。	⑧ その他	事業の促進を図るため、国に対し早期整備を要望する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施 策	④空港・港湾へのアクセス強化に向けた陸上輸送の基盤整備
			施策の小項目名	○陸上輸送の基盤整備の促進
主な取組	那覇空港自動車道の整備		対応する成果指標	那覇港～中城湾港新港地区の所要時間・那覇空港～中城湾港新港地区の所要時間
施策の方向	・ 空港・港湾の国際物流機能を活用した産業の集積、空港と港湾、空港・港湾と産業拠点とのアクセシビリティ強化に向けて、重要物流道路等の陸上輸送の基盤整備を促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
本島中南部・北部の各拠点の地域振興の支援、物流の効率化及び交通混雑の緩和を図るため、那覇空港自動車道(小禄道路)の整備を行う。	国	小禄道路の整備		
		整備促進に向けた県から国への要請回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL https://www.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)	
予算事業名	道路交通円滑化改築（国道506号）					予算事業名	道路交通円滑化改築（国道506号）
主な財源	実施方法	R8年度		R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		
		主な財源	実施方法			当初予算額	
国直轄	その他					国直轄	その他
令和7年度活動内容						令和8年度活動計画	
国は、小禄道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。						国は、小禄道路の整備を行う。県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。	
予算事業名	国直轄事業県負担金（国道506号）					予算事業名	国直轄事業県負担金（国道506号）
主な財源	実施方法	R8年度		R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		
		主な財源	実施方法			当初予算額	
県単等	負担					県単等	負担
令和7年度活動内容						令和8年度活動計画	
県は、国の小禄道路の整備に係る負担金を支出した。さらに県は国に対し、当該事業の促進を図るため早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。						県は、国の小禄道路の整備に係る負担金を確保する。さらに県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。	
活動指標名	整備促進に向けた県から国への要請回数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		国は、小禄道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要望を2回（5月、11月）行った。
	—	—	2回	2回	100.0%	順調	

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和7年度の要請回数は、目標値2回に対し実績は2回だったことから目標を達成しているため順調とした。 国において、小祿道路の整備が着々と進んでおり、完成後は広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興に寄与する。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の実績改善案	反映状況
引き続き国に対し、早期整備の要請を2回行う。	県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	自動車保有台数やレンタカーの増加等に伴い、今後もさらなる交通量の増加が見込まれることから、当該道路の早期整備が望まれる。	⑧ その他	引き続き国に対し、早期整備の要請を2回行う。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施 策	④空港・港湾へのアクセス強化に向けた陸上輸送の基盤整備
			施策の小項目名	○陸上輸送の基盤整備の促進
主な取組	沖縄西海岸道路の整備		対応する成果指標	那覇港～中城湾港新港地区の所要時間・那覇空港～中城湾港新港地区の所要時間
施策の方向	・ 空港・港湾の国際物流機能を活用した産業の集積、空港と港湾、空港・港湾と産業拠点とのアクセシビリティ強化に向けて、重要物流道路等の陸上輸送の基盤整備を促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
中南部圏域西海岸の地域拠点、広域交流拠点、高規格幹線道路を相互に連絡し、物流の効率化、交通渋滞の緩和を図るため、沖縄西海岸道路（読谷道路等）の整備を行う。	国	読谷道路、浦添北道路、那覇北道路等の整備		
		整備促進に向けた県から国への要請回数（累計）		
		2回	2回（4回）	2回（6回）
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL https://www.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

道路交通円滑化改築事業 (国道58号)

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

国直轄

その他

令和7年度活動内容

国は、小禄道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回 (5月、11月) 行った。

予算事業名

国直轄事業県負担金 (国道58号)

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

負担

令和7年度活動内容

県は、国の読谷道路等の整備に係る負担金を支出した。さらに県は国に対し当該事業の促進を図るため早期整備等の要請を2回 (5月、11月) 行った。

(単位: 千円)

予算事業名

道路交通円滑化改築事業 (国道58号)

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

国直轄

その他

令和8年度活動計画

国は、小禄道路の整備を行う。県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。

予算事業名

国直轄事業県負担金 (国道58号)

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

負担

令和8年度活動計画

県は、国の読谷道路等の整備に係る負担金を確保する。さらに、県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し早期整備等の要請を行う。

活動指標名

整備促進に向けた県から国への要請回数 (累計)

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

順調

国は、読谷道路等の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回 (5月、11月) 行った。

- 26 -

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和7年度の要請回数は、目標値2回に対し実績は2回だったことから目標を達成しているため順調とした。 国において、読谷道路等の整備が着々と進んでおり、完成後は広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興に寄与する。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の実績改善案	反映状況
引き続き国に対し、早期整備の要望を2回行う。	県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	自動車保有台数やレンタカーの増加等に伴い、今後もさらなる交通量の増加が見込まれることから、当該道路の早期整備が望まれる。	⑧ その他	引き続き国に対し、早期整備の要望を2回行う。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(4)-ア	シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コストの低減	施 策	④空港・港湾へのアクセス強化に向けた陸上輸送の基盤整備
			施策の小項目名	○陸上輸送の基盤整備の促進
主な取組	那覇港臨港道路整備事業		対応する成果指標	那覇港～中城湾港新港地区の所要時間・那覇空港～中城湾港新港地区の所要時間
施策の方向	・ 空港・港湾の国際物流機能を活用した産業の集積、空港と港湾、空港・港湾と産業拠点とのアクセシビリティ強化に向けて、重要物流道路等の陸上輸送の基盤整備を促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
臨港道路若狭港町線の整備促進に向けた国への要望活動を行う。	国	臨港道路の整備		
		整備促進に向けた港湾管理者から国への要請回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

港湾建設関連諸経費

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

市町村

直接実施

7,510

1,434

令和7年度活動内容

「経済と暮らしを支える港づくり全国大会（沖縄県開催）」及び「全国港湾知事協議会」にて、臨港道路若狭港町線の整備促進等を国へ要望した。

予算事業名

港湾建設関連諸経費

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

市町村

直接実施

10,000

令和8年度活動計画

「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」及び「全国港湾知事協議会」にて、国へ継続して要望する。

活動指標名

整備促進に向けた港湾管理者から国への要請回数（累計）

R5年度

R6年度

R7年度

実績値

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

—

—

2回

2回

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

令和7年10月に「全国港湾知事協議会」、令和7年11月に「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」にて、臨港道路若狭港町線の整備促進等を国への要望した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

臨港道路若狭港町線の整備促進に向けた国への要望活動について目標回数を実施したため、順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

取扱貨物量の増加等、社会的な状況の変化を把握し、整備促進の必要性が伝わるよう、要望活動に取り組む。

取扱貨物量の増加等、社会的な状況の変化を把握し、整備促進の必要性が伝わるよう、要望活動に取り組んだ。

- 29 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	社会的な状況の変化を踏まえ、整備促進の必要性を示す必要がある。	⑧ その他	取扱貨物量や社会的状況の変化等を踏まえ、整備の必要性を十分に整理するとともに、様々な機会を捉えて国への要望活動に取り組む。